

三河商人道

PART
137

(医) 康生歯科医院
理事長 磯村 哲也君



青年部は、大人の部活動。



小学生の頃から歯医者さんに憧れ、大学を卒業後、同年代の歯科医が4~5年で独立開業する中、静岡の歯科医院で12年間かけじっくり修行。技術に磨きをかけ15年前、満を持して康生町にて康生歯科医院を開業されました。インプラントをはじめとする専門技術や専属の歯科技工士などが評判を呼び、患者さんの9割が口コミで来院されるという人気の歯科医院となっています。

大学時代は名古屋で下宿生活、卒業後はすぐ静岡で修行ということで、ここ岡崎が地元にもかかわらず、友達も知り合いも少なかったという磯村さん。そんなことからJCを経て2003年に岡崎商工会議所青年部へ入会されました。JC卒業時には、青年部への入会を決めておられたそうです。「世代の近い青年部は大変なことも多かったがそれ以上に喜びと感動があり、そしてなによりも楽しかった。」と磯村さん。

2005年、青年部の全国大会が豊田市にて開催された際に、岡崎商工会議所青年部が分科会を担当。当時その担当委員会の副委員長として活動されていましたが、委員長が諸事情により活動できなくなり、磯村さんが分科会の企画、運営の指揮をとったことが本当に大変で最も印象に残る思い出だそうです。「朝から夜遅くまで歯科医として仕事をし、僅かな空き時間は全て青年部に費やしていましたね。自分が頑張っていれば黙っていてもメンバーが力を貸してくれる……そんな人々に支えられてきたからこそ分科会を成功させることができたと思っています。」と振り返られました。そのような経験が医院のスタッフをいつも大切に思い、自分自身のビジョンをしっかり見据えて皆の道しるべとなるような存在になっているのだと感じました。

「青年部では、本当に多くの仲間と出会い、リーダーにとって大切なものを非常に多く学ぶことができました。今、思い返してみると楽しかった思い出しか残っておらず、この先青年部のような団体に所属して腹を割って話す仲間と出会う事も少なくなるかと思うともものすごく寂しいです。」と涙目で話されました。

青年部は「大人の部活動」と言う磯村さん。「自分の人生において青年部は必ずプラスになる場所だから、在籍している間に一人でも多くの友達を作って、多くのメンバーの皆さんが青年部を超えた人間関係を築いていてもらいたいと願っています。」と取材を締めくくっていただきました。



清潔感あふれる真っ白な医院内



最新の技術と機器で診療にあたっています。



院長室で取材に応じてくれた磯村さん



取材担当/
情報発信委員会
高原裕治・照井彬等